

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 木村 睦
 (氏名) 宇佐美 昌和
 TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	65,378	2.9	1,932	45.5	2,187	44.1	1,156	41.3
2020年3月期第1四半期	67,317	0.5	3,548	11.3	3,912	9.2	1,969	15.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3百万円 (99.8%) 2020年3月期第1四半期 2,220百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.85	
2020年3月期第1四半期	9.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	288,981	176,980	49.9
2020年3月期	283,882	181,329	52.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 144,122百万円 2020年3月期 147,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				20.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	122,504	10.9	2,180	71.4	2,265	71.2	760	82.6	3.84
通期	275,800	1.9	12,000	24.2	12,200	25.0	5,952	33.7	30.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	199,699,743 株	2020年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,995,058 株	2020年3月期	1,995,163 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	197,704,620 株	2020年3月期1Q	199,630,037 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、修正した連結業績予想の詳細につきましては、「決算短信補足資料」PAGE8/9～9/9に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

○ 第1四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な経済活動が制約を受けました。一旦収束に向かうかと思われた国内の感染拡大も再燃の可能性が出ており、先を見通すことが非常に難しい状況にあります。また海外においても、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に加えて、米中をはじめとする通商問題を巡る緊張が増大するなど、国内同様に先行きが不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営構想「TaKaRa Group Challenge for the 100th」の実行計画の第1ステップとしての「宝グループ中期経営計画2022」のもと、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、環境変化に柔軟に対応し、強化すべき領域へ適切な経営資源の配分と投下を行い、収益力を高める多様な「価値」を生み出し続ける事業構造とグローバルなコーポレート機能の再構築を推し進めることで、国内外での持続的な成長の実現とグループの企業価値向上に向けて足元を固めることに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高65,378百万円（前年同期比97.1%）、売上総利益25,358百万円（前年同期比95.8%）、営業利益1,932百万円（前年同期比54.5%）、経常利益2,187百万円（前年同期比55.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,156百万円（前年同期比58.7%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、飲食店等の営業自粛による影響と、いわゆる巣ごもり需要とによりカテゴリー間で大きなばらつきがありました。酒類では、清酒は減少いたしました。ソフトアルコール飲料が、引き続き好調に推移いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。調味料は、その他調味料は増加いたしました。みりんが減少いたしましたので、わずかに減少いたしました。原料用アルコール等では、工業用アルコールなどが好調に推移いたしましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、37,601百万円（前年同期比104.4%）となりました。売上原価は、23,015百万円（前年同期比105.2%）となり、売上総利益は、14,586百万円（前年同期比103.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費などが減少し、13,854百万円（前年同期比99.2%）となり、営業利益は、731百万円（前年同期比423.6%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外酒類事業では中国で新型コロナウイルス感染症による大きな影響があったものの、英国、米国でウイスキーが好調だったため、全体では前年並となりました。一方海外日本食材卸事業では、3月以降欧米での主要な得意先であるレストランの休業等により減収となりました。また前年同期と比べ円高の影響を受け、円換算での売上高は減少いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、18,616百万円（前年同期比93.9%）となりました。売上原価は、13,237百万円（前年同期比92.8%）となり、売上総利益は、5,379百万円（前年同期比96.7%）となりました。販売費及び一般管理費は、管理費などが増加し、5,245百万円（前年同期比107.5%）となり、営業利益は、133百万円（前年同期比19.6%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が減少したことなどにより、6,938百万円（前年同期比80.2%）となりました。売上原価は、売上高の減少等により2,234百万円（前年同期比81.7%）となり、売上総利益は、4,703百万円（前年同期比79.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などが増加し、4,009百万円（前年同期比109.4%）となり、営業利益は、693百万円（前年同期比30.8%）となりました。

[その他]

当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたことなどにより、6,858百万円（前年同期比89.3%）となりました。売上原価は、6,033百万円（前年同期比90.7%）となり、売上総利益は、825百万円（前年同期比80.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、管理費などが減少し、473百万円（前年同期比92.3%）となり、営業利益は352百万円（前年同期比68.1%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	前年 同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	12,297	12,445	101.2
清酒	4,111	3,507	85.3
ソフトアルコール飲料	10,047	11,886	118.3
その他酒類	1,592	1,352	84.9
酒類計	28,048	29,191	104.1
本みりん	3,191	3,127	98.0
その他調味料	2,423	2,461	101.6
調味料計	5,614	5,589	99.6
原料用アルコール等	2,345	2,821	120.3
計	36,009	37,601	104.4
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	2,493	2,506	100.5
海外日本食材卸	17,774	16,460	92.6
その他	24	28	113.0
グループ内連結消去	△473	△379	—
計	19,819	18,616	93.9
タカラバイオグループ	8,650	6,938	80.2
報告セグメント計	64,479	63,156	97.9
その他	7,682	6,858	89.3
セグメント計	72,161	70,014	97.0
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△4,844	△4,635	—
合計	67,317	65,378	97.1

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は174,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,577百万円増加いたしました。現金及び預金が4,399百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は114,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ477百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、288,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,099百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は55,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ411百万円減少いたしました。固定負債は56,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,859百万円増加いたしました。長期借入金9,957百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、112,001百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,448百万円増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は176,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,348百万円減少いたしました。利益剰余金が2,797百万円、為替換算調整勘定が1,613百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.9% (前連結会計年度末は52.1%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2020年5月14日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を修正しております。

宝酒造および宝酒造インターナショナルグループでは、当第1四半期連結累計期間は社内計画を概ね上回って推移いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響について、2020年7月頃まで続く見込みであったものが、さらに長期化すると想定されることから、期初予想を据え置くことといたします。

また、タカラバイオグループでは、現時点で見通せる範囲で、新型コロナウイルス検査用のPCR関連製品や、DNAワクチン関連の製造受託などによる業績への寄与などを織り込み、一方で、本日(2020年8月4日)公表いたしました、中国における腫瘍溶解性ウイルスC-REVの独占的開発・製造・販売契約の解約の影響を織り込んだ結果、当第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を修正しております。

以上により、当社グループの2021年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を下記の通り修正することといたします。詳細につきましては、「決算短信補足資料」(PAGE8/9～9/9)をご参照ください。

(第2四半期累計期間連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月14日発表)	百万円 120,000	百万円 300	百万円 400	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想(B)	122,504	2,180	2,265	760	3.84
増減額(B-A)	2,504	1,880	1,865	760	—
増減率(%)	2.1	626.7	466.3	—	—
ご参考：前期実績 (2020年3月期第2四半期)	137,502	7,623	7,871	4,374	21.91

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月14日発表)	百万円 270,000	百万円 10,000	百万円 10,200	百万円 5,100	円 銭 25.80
今回修正予想(B)	275,800	12,000	12,200	5,952	30.11
増減額(B-A)	5,800	2,000	2,000	852	—
増減率(%)	2.1	20.0	19.6	16.7	—
ご参考：前期実績 (2020年3月期)	281,191	15,836	16,269	8,980	45.11

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,265	51,664
受取手形及び売掛金	61,017	59,563
有価証券	7,352	7,324
商品及び製品	42,295	44,029
仕掛品	1,801	1,937
原材料及び貯蔵品	4,879	5,473
その他	4,515	4,812
貸倒引当金	△307	△408
流動資産合計	168,820	174,397
固定資産		
有形固定資産	69,835	69,210
無形固定資産		
のれん	11,750	11,294
その他	6,950	6,569
無形固定資産合計	18,700	17,864
投資その他の資産		
投資有価証券	21,720	22,768
その他	4,873	4,809
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	26,525	27,509
固定資産合計	115,061	114,584
資産合計	283,882	288,981
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,440	16,469
短期借入金	4,787	4,916
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	7,690	7,521
未払費用	5,511	4,272
未払法人税等	1,886	829
賞与引当金	2,513	3,585
その他の引当金	2,711	2,837
その他	8,926	9,623
流動負債合計	55,466	55,055
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,448	15,405
リース債務	3,538	3,241
退職給付に係る負債	9,065	9,115
長期預り金	5,363	5,373
その他	3,670	3,808
固定負債合計	47,086	56,945
負債合計	102,553	112,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,454	2,454
利益剰余金	128,564	125,766
自己株式	△1,682	△1,681
株主資本合計	142,563	139,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,125	7,851
繰延ヘッジ損益	84	123
為替換算調整勘定	△1,102	△2,715
退職給付に係る調整累計額	△908	△902
その他の包括利益累計額合計	5,199	4,356
非支配株主持分	33,566	32,858
純資産合計	181,329	176,980
負債純資産合計	283,882	288,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	67,317	65,378
売上原価	40,844	40,020
売上総利益	26,473	25,358
販売費及び一般管理費	22,924	23,426
営業利益	3,548	1,932
営業外収益		
受取配当金	314	267
その他	315	208
営業外収益合計	630	476
営業外費用		
支払利息	101	99
シンジケートローン手数料	—	54
その他	165	68
営業外費用合計	266	222
経常利益	3,912	2,187
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	113	19
投資有価証券評価損	74	5
その他	2	—
特別損失合計	190	25
税金等調整前四半期純利益	3,723	2,161
法人税、住民税及び事業税	1,401	1,081
法人税等調整額	△295	△154
法人税等合計	1,105	927
四半期純利益	2,617	1,234
非支配株主に帰属する四半期純利益	647	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,969	1,156

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,617	1,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△710	725
繰延ヘッジ損益	△66	38
為替換算調整勘定	389	△2,006
退職給付に係る調整額	△10	10
その他の包括利益合計	△397	△1,231
四半期包括利益	2,220	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,421	313
非支配株主に係る四半期包括利益	798	△310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,874	19,766	8,650	64,290	3,023	67,313	3	67,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	134	53	0	188	4,659	4,847	△4,847	-
計	36,009	19,819	8,650	64,479	7,682	72,161	△4,844	67,317
セグメント利益	172	678	2,251	3,102	517	3,619	△71	3,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去21百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△92百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,515	18,536	6,938	62,990	2,388	65,378	0	65,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	79	-	165	4,470	4,635	△4,635	-
計	37,601	18,616	6,938	63,156	6,858	70,014	△4,635	65,378
セグメント利益	731	133	693	1,558	352	1,910	21	1,932

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去41百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△19百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な契約の解約)

当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社（以下、「タカラバイオ」という。）は、2020年8月4日開催の取締役会において、Tasly Biopharmaceuticals Co., Ltd.（本社：中国上海市、以下、「タスリー社」という。）に対する腫瘍溶解性ウイルスC-REV（一般名 canerpaturev）の中国における独占的開発、製造、販売を許諾するライセンス契約（以下、「本契約」という。）を解約することを決議し、同社と合意の上、同日付で契約を解約いたしました。

(1) 契約解消の理由

タカラバイオは、2020年5月11日に本契約を締結いたしました。昨今の社会情勢（新型コロナウイルス感染症の世界的流行）等を考慮し、両社で今後の方針を協議した結果、2020年8月4日付で本契約を解約することに合意いたしました。

(2) 契約の相手方の名称

Tasly Biopharmaceuticals Co., Ltd.

(3) 契約解約の時期

2020年8月4日

(4) 契約の内容

タカラバイオはタスリー社に中国（香港とマカオを含み、台湾は含まれない。）におけるC-REVの独占的開発、製造および販売を許諾いたします。タカラバイオはC-REVの製造技術を移管し、タスリー社は中国でC-REVを新規抗癌剤として上市することを目指し臨床開発を進めます。

タカラバイオはタスリー社より契約一時金、契約維持金および開発の進捗に応じたマイルストーン達成金を受領いたします。また、上市後は、売上高に応じたランニングロイヤリティとともに、売上高目標達成の際にはマイルストーン達成金を受領いたします。

(5) 契約の解約が営業活動等へおよぼす重要な影響

本契約に基づきタスリー社に許諾されたC-REVの中国における独占的開発、製造、販売にかかる権利は、本契約解約により全てタカラバイオに返還され、契約一時金、および開発・販売の進捗によるマイルストーン達成金の売上収入等が見込めなくなります。なお、2020年8月4日に、本契約の解約の影響も含めた2021年3月期の修正連結業績予想を公表しております。